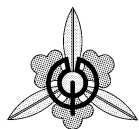


三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第16号 R3.12.20(月)

藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美



スマホやゲーム、ちょっと意識改善

以前全校集会で、三中生の平日のスマホ使用3時間以上62.9%は危機的状況だからもう一度自分の使用状況について考えて欲しいと話しました。その後みんなの様子はどのように変化しているでしょうか。お家での様子はどうですか。スマホ・ネット依存は学力低下だけではなく、心の健康にもダメージを与えます。また、SNS やネットゲームはネットワークを介して様々な人と簡単につながりを持てる利点もある反面それに伴うトラブルが頻発しています。子どもたちにコントロールが難しいなら大人の介入が必要かもしれません。1年生が「最近1時間でやめています」と話してくれました。とにかく少しずつ、改善していけばいいと思います。

三中カーニバル イントロクイズ盛況

最近、3年生の受験対策で面接練習を行っています。「あなたの出身校の自慢できる場所はどこですか」と聞くと、「男女を問わず仲がいい」「先生との距離が近い」「部活動が盛ん」という答えが多いですが、本校の特徴的な答えとして「普通の行事だけではなく、みんなが楽しめる三中カーニバルがあります」という答えも少なくありません。ただし、その説明には苦戦していました。三中カーニバルは本校のよさをうまく引き出している行事です。12月の三中カーニバルは生徒会企画でイントロクイズでした。決勝には4チームのうち生徒と担任で結成されたチームが2つも残り、仲のよさがにじみ出ていました。最終「平均年齢25歳」チームが優勝し、今回も昼休み、玄関ホール等のライブ中継で大いに盛り上がりました。

非言語コミュニケーション

先週の金曜日、朝から雨が降っていて、自転車通勤の私は、途中で車に水しぶきを掛けられ、ブルーな気分で自転車を走らせていました。本校の校区にさしかかったとき、何台もの車が横断歩道を渡る小学生を待ち、渋滞が起きていました。渡っているのは黄色い帽子をかぶった低学年です。傘を差して歩きにくそうにモタモタしていました。横を見ると車の運転手は少しイライラしているようにも見えました。そのとき、渡り終わった小学生の一番後ろを歩いていた子がぐるりと振り返り、お辞儀をしたのです。車の運転手も会釈をし、それを見ていた私も一気に心が温かくなりました。たったこれだけのことです。見知らぬ人同士が言葉も交わさず、こんなに気持ちよくなれるのだなと思うと、言葉じゃないコミュニケーション(目を合わせる・笑顔・うなずく等)もなかなか捨てたものではないなと感じた一コマでした。以前お伝えしたように本校の生徒は挨拶をする子が増えてきただけでなく、声が出なくても会釈をして通過していく子が多いです。これもその一つだと思います。

皆さんは子どもさんと話すとき、何か心がけていることはありますか。

新俳句 と 青少年読書感想文 入賞!

また嬉しいお知らせです。「第32回伊藤園おーいお茶新俳句大賞」に本校卒業生を含む4名が入賞しました。佳作特別賞『桜降り「また会おうね」と泣き笑う』はペットボトルに掲載されます。探してみてください。また、12月12日(日)の毎日新聞朝刊に本校3年生が「第62回府青少年読書感想文コンクール」の特選を受賞した記事が掲載されていました。さらに前号で紹介した青少年健全育成の作文の表彰についても広報ふじいでら1月号に掲載されますので是非ご覧ください。本当にみんなよく頑張ってくれています。おめでとうございます。